

授業科目名 <英訳>	西洋史学(講読) European History (Seminars)				担当者所属・ 職名・氏名	人文科学研究所 准教授 伊藤 順二					
配当 学年	2回生以上	単位数	2	開講年度・ 開講期	2018・ 前期	曜時限	火3	授業 形態	講読	使用 言語	日本語
題目	露書講読 1										
【授業の概要・目的】											
19世紀の評論の読解を通じて、ロシア語の一般的能力、および特に評論的・論文的な文章の読解力を向上させる。											
【到達目標】											
ロシア語で書かれた現代の研究論文、および19世紀の一般的な文章を、辞書等を参照しつつ自力で読解できる。											
【授業計画と内容】											
以下をテキストとする予定である。											
, (1854)											
ただし、受講者の希望によってテキストを変更する可能性もある。											
第1回：イントロダクション 第2回～第15回：講読(日本語訳、文法的説明、背景説明)											
【履修要件】											
特になし											
【成績評価の方法・観点及び達成度】											
期末テストはおこなわない。 毎回の講読における平常点(予習の精度)によって評価する。											
【教科書】											
プリントを配布する。											
【参考書等】											
(参考書)											
【授業外学習(予習・復習)等】											
予習として自分でテキストを訳しておくことが必須となる。											
(その他(オフィスアワー等))											
露和辞典は研究社出版のものを所持していることが望ましい。 オフィスアワーの詳細については、KULASISで確認してください。											